

# The RifleSports



## 視線、その先へ

冬 2024  
JANUARY  
no.463

Japan Rifle Shooting Sport Federation

スポーツジ  
WINNER 0000 BIG  
スポーツ振興くじ助成事業



# スマホ防犯は、ALSOK。



レスリング 園田 新  
レスリング 森川 美和  
レスリング 屋比久 翔平

柔道 梅木 真美  
柔道 原田 健士  
柔道 瀬川 麻優

今の時代、「暮らしの安心」もみんなのものになるべきだ。

そう考えALSOKがたどり着いたのが、

身近なスマホを使って自分で防犯ができるスマホ防犯です。

カメラとスマホアプリが連携し、リアルタイムで自宅をチェック。

取付もかんたんで月額料金もおトク。

誰でも気軽に始めやすく、アップグレードもでき、  
生涯にわたって家族の安全安心がしっかり守られます。

これぞまさに、新時代のホームセキュリティです。

**HOME ALSOK Connect**

24時間 365日受付 |  0120-39-2413

サンキュー ツヨイ ミカタ

## 新年 挨拶

年頭に際し、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。会員のみならずにおかれましては、旧年中も日本ライフル射撃協会の運営に格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年もより一層のご支援、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

また、このたびの令和6年能登半島地震による被害に際し、深くお見舞い申し上げますとともに、被災されたみなさまのご無事と1日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年は本会の使命である「ライフル射撃スポーツを通して、国民の心身の健康に貢献すること」を果たすべく、体験会の開催、ホームページ・小誌『ライフルスポーツ』のリニューアルおよびさらなる活用など、積極的な広報活動に舵を切った1年でした。こうした情報活動に力を入れる路線を推し進めることにしましたのは、現状への危機感からにはかなりません。

近年、スポーツ人口の減少が叫ばれています。オリンピックでのメダル獲得が競技人口の増加につながった時代がありました。先の東京2020オリンピックで12個のメダルをとった柔道でも登録人口が減少していると聞きます。人気競技のサッカーも、ピーク時の半分ほどの競技者数になっているそうです。なぜ、こうした現象が起きているのか。根幹にもちろん少子化という状況があるでしょう。しかし、それだけが問題でしょうか？

その競技がいかにか社会的な理解を得ることができるか、社会的に評価されるか、ここが重要な点ではないか、と私は考えています。社会的な活動、社会的な貢献、ここが評価されることが普及につながっていくのではないかと思うのです。プレーヤーが競技を理解し、楽しみ、狭い社会で活動する時代は終わり、社会的な理解を得る努力がますます必要になってきているのです。

その点を踏まえ、日ラが力を入れてきたのが『共生スポーツ』と

## 蒔いた種をさらに大きく育てる2024年に



しての射撃の普及です。ただ残念ながら、こうした活動の意義・意味が射撃界のみならず完全に浸透しているとはいえませんが、新たな指針に戸惑っている会員の方もいらっしゃる。新しい指針に戸惑っている会員の方もいらっしゃる。新たな指針に戸惑っている会員の方もいらっしゃる。

小誌『ライフルスポーツ』をはじめとしたメディアを積極的に活用し、これからも丁寧な説明を続けていきたいと考えています。

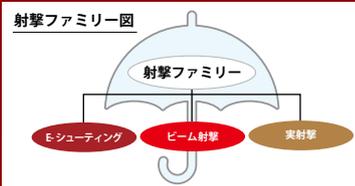
現在、日本は年齢差、性差、障がいの有無など、さまざまな人々が分け隔てなく暮らしていく「共生社会」を目指しています。スポーツの側面から「共生」をうたうことができる、数少ない競技の一つが私たちの射撃です。ここに日ラは現在、挑んでいます。「共生」のために新たな共生大会をつくるのではなく、最高峰の競技会『全日本選手権大会』を「共生大会」と位置づけました。福井県、栃木県で開催した「全日本ライフル射撃選手権大会／オリパラ男女混合共生大会」がその代表的な大会です。これらが成功裏に終了したことは、『ライフルスポーツ春号』でお伝えしたとおりです。2024年はこの2023年に蒔いた種がさらに大きく育つよう、推進していきます。

さあ、今年はいよいよの地でオリンピックが開催されます。選手たちの活躍を力に、人々から愛されるスポーツ、支持される競技団体となるべく、新しい年も共に努力を続けていきましょう。

公益社団法人日本ライフル射撃協会

会長 松丸喜一郎

3年間続いたコロナ禍から明け、共生大会の本格スタート、eシューティングの発進、小誌『ライフルスポーツ』のリニューアルなど、さまざまなことが動き出した2023年射撃界。今夏にはパリオリンピックを控える2024年は、射撃界にとってどのような1年になるのだろうか。そのキーマンとなる松丸喜一郎会長の言葉から、その行方を考えてみたい。



### その③ ビームライフル・ビームピストルの2024

世界で広く行われている射撃競技だが、日本の競技人口は非常に少ない。銃刀法という厳しい法律の壁に阻まれ、実弾を発射する銃の所持には許可証が必要となるからだ。しかも、その許可自体、エアピストルに至っては500名しか発行されないという規制があるため競技者を増やすことはまず不可能で、射撃競技の普及には限界がある。

その環境をなんとかしよう和我々の先人たちが知恵を絞り、生み出したのがビーム射撃だ。実弾を使わない光線銃で、誰でも気軽に楽しく撃つことができるものであることは、ビームライフル・ビームピストル体験会が盛況であることが証明している。このビーム射撃の普及にさらに力を入れていきたい、と松丸会長は意欲を燃やしている。

「体験会で射撃に興味を持ってくださる方が多くいらっしゃいます。ところが、興味を持って実際に気軽にやれる場所が少なく、東京都区内でも山手線内に数か所あるくらい。地方に至っては、ほとんど常設された場所がないというのが現状です。せっかく興味を持ってくださった人たちのアクセスポイントをいかに増やしていくかなど、早急に対応する必要があります。またヨーロッパを中心に、各地で起きている紛争や銃の乱射事件、また実弾に使用されている鉛による環境問題などから銃に対し、以前よりも厳しい視線が向けられるようになってきています。このようなことから、ビーム射撃にとっては追い風が吹いていると言ってもいいでしょう。

かつては街中の娯楽施設などでもプレーできた時代がありました。そのあたりをもう一度見直し、ビーム射撃の環境を少しでも整えていきたいと考えています」



### その④ eシューティングの2024

これからの射撃界を担っていく若い世代が好きなゲームは射撃由来のものが多く、世界中に愛好者がいる。日ラはここにいち早く注目。協会内にマーケティング委員会を立ち上げると、国際オリンピック委員会（IOC）、国際射撃スポーツ連盟（ISSF）を動かし、ゲーム業界内で知らない人はいないオンラインゲーム『フォートナイト』のエピック・ゲームズ社の協力を得て、スポーツ射撃版を開発。国内競技団体のなかで先駆けてeスポーツに参戦した（欄外、オリンピックeスポーツシリーズ2023）。これをきっかけに加盟団体とすべくeシューティングを独立させ、日本eshooting協会をこれから発足させ、今年には本格的な活動を開始する、と松丸会長は語る。

「シューティングゲームの背景には桁違いの人口がいます。その人たちをいかに取り込めるか。ここは大きな課題ですね。現在、逼迫している協会の財政の、救世主となる可能性を秘めているからです。まずはeスポーツとしてのシューティングを入り口に射撃の魅力を知っていただき、ビームライフルからエアライフルなどへ、実践でやりたいという人たちが少しでも増えてくれることを願っています。そのためには、今年、なるべく早い段階で国内大会を開催したいと考えています。また昨年オリンピックeスポーツシリーズではフォートナイトの上位トップ選手の招待制で試合を行いました。次は大陸別に予選会を行いたいというのが私の考えです。いずれにせよ、ISSFとしても未知の分野です。エピック・ゲームズ社と連携を図り、日ラが率先して動いてeスポーツの形を整えていきたいですね」



11月

#### ライフルスポーツ、海外に寄贈

11月

国際貢献の一環として、外務省を通じ、キルギス、カメルーン、モルジブの3カ国にライフルの射撃コート上下セットを寄贈。各国から「両国の協力関係がさらに強化されました」といった感謝の言葉が協会に届いている。



なお、この講演動画は下記のQRコードから。



12月

#### 2023東アジアユースエアガン大会で、大会初となる男女総合優勝を決定

12月12日(火)～14日(木)

栃木県ライフル射撃場で開催された、3年ぶりの東アジアユース。この大会で共生スポーツとしての射撃競技という日ラのコンセプトのもと、男女総合優勝者を決定。表彰した。韓国、シンガポールといった海外の選手が参加して行われた大会で総合優勝を決定したのは、この大会が初となる（詳細はP20\_21）。

大会後、松丸会長と谷津義男・栃木県ライフルスポーツ射撃協会会長は栃木県庁を訪れ、大会について福田富一知事に報告。「各国のコーチから素晴らしい大会と評価をいただいた」と、感謝を伝えた。



# 射撃界、2024年の予想図

～松丸喜一郎会長の言葉から紐解く～

## その① 共生スポーツとしての射撃競技の2024

昨年から大々的に始まった共生大会。射撃競技の特性を活かし、性別・年齢・障がいの有無に関係なく同じフィールドで競い合う大会として、G1カテゴリーの『全日本ライフル射撃競技選手権大会(10mAR/AP)』(3月/福井県福井市)からスタートし、『全日本ライフル射撃競技選手権大会(10m)・全日本選抜ライフル射撃競技大会(50mライフル)』(5月/栃木県宇都宮市)、『全日本ライフル射撃選手権大会(50mライフル)・全日本選抜ライフル射撃競技大会(10mAR/AP)』(11月/大阪府能勢町)と3つの大会を『男女混合オリパラ共生大会』と銘打って開催した。

2024年はさらにこの活動を充実したものにしていこう、と松丸会長は考えている。

「国内最高峰の種目別全日本選手権において、本選を男女別に行い、ファイナルは男女混合にしてトップ8で競い合い、総合順位を確定するという方式に変更したのが2023年の共生大会でした。今年はこの男女総合優勝という形式はそのまま推進し、競技については少し変えていく予定です。といいますのも、昨年の大会では机を使用する障がいの方も健常者の立射も同じ種目として、一緒に射群でやっていただく方式を取りましたところ、パラ射撃の方は「ブローン(伏射)の競技者である、という気持ちが強く、認識にズレが生じていることがわかったからです。その点を改善し、健常者も障がい者も同じルール、同じ意識で競いあえる大会にするべく、現在、調整しています。この大会はまずG3カテゴリーの大会から挑戦していく予定です」



## その② パリ2024オリンピック・パラリンピック

7ヶ月後、フランスはパリの地でオリンピック・パラリンピックが開催される。現時点(2023年12月末日)で日本は、オリンピックはライフル1枠、ピストル1枠、パラリンピックはライフル3枠の出場枠を獲得しているが、本番ではさらに枠を増やし、納得のいく成績を挙げてくれるだろう、と松丸会長は語っている。

「パリに向けて選手たちは頑張ってくれています。ライフルでは岡田直也、ピストルでは吉岡大が出場枠を獲得してきました。これから残るQP(出場枠)を有望な選手たちがきくと獲得してくれることでしょう。パラでも瀬賀亜希子、岡田和也、水田光夏により3枠獲得しています。これらをとってきた選手たちがおそらく代表となって出場することになると思います。特に、岡田、吉岡は世界ランキングが4位(11月末日時点)ですし、パリはかなり期待できると思います。」

兎にも角にも2019年にナショナルトレーニングセンター(NTC)ができ、最初の大会となった東京オリンピック・パラリンピックは、コロナの関係で十分な活用ができませんでした。今年のパリはNTCをフルに活用し、新しい強化システムになってからの大会で、そのやり方が試される場でもあります。新生 Team Japan の活躍をご期待ください」



3月

### 共生大会、本格始動

3月18日(土)・19日(日)

福井県で開催された「全日本ライフル射撃競技選手権大会」を初の「オリパラ男女混合共生大会」として開催。男女の区別なく、総合優勝者を決定した。初代の王者は大学生の三浦莉桜選手(明治大学)。



5 TheRifleSports no.463

6月

### オリンピックeスポーツシリーズ2023、開催

6月24日(土)

IOCと国際競技連盟(IF)、ゲーム会社との連携から生まれたバーチャルシミュレーションスポーツ競技大会『オリンピックeスポーツシリーズ2023』がシンガポールで開かれ、国内競技団体として初めて日ラが参戦した。ゲームはフォートナイトの魅力を活かしながらも、精密射撃、速射射撃、連続射撃など、射撃競技の要素を随所に取り入れる形で創意工夫を凝らしたもの。時間の関係で予選を行うことができなかったため、フォートナイト世界大会のトップ12名(日本人を含む)とシンガポールから1名の計13名が出場した。



10月

### eスポーツ講演会@日本記者クラブ

10月13日(金)

銃刀法、競技人口の減少、競技者の高齢化など、日ラが抱えている現状を紹介。エアライフルやピストルによる現在の種目をリアル射撃とし、ビーム射撃、eシューティングを射撃ファミリーとすることで若い世代への訴求、新たな収入源の開発を図っていく、などといった日ラの活動について集まった記者たちに説明した。記者たちからは、「今後の展望」や「eスポーツとして社会にどのような貢献ができるか」など、戦略的な内容のものなどさまざまな質問が飛び出した。

10.9 FOCUSED.  
TARGETED.  
EXACTLY.



**LG400  
MONOTEC**



**KK500**  
PRECISION IN A NEW DIMENSION

**POWERED PERFORMANCE.**



(公社) 日本ライフル射撃協会オフィシャルサプライヤー  
株式会社 **國友銃砲火薬店**  
〒600-8032 京都市下京区寺町通仏光寺東入る 國友ビル 3F

ワルサー社・エレー社 日本代理店  
TEL(075)351-3037 FAX (075)351-3041  
<http://www.kunitomogs.co.jp> E-mail: shooting@zj8.so-net.ne.jp

### パリの代表権獲得には 3つの段階がある

パリオリンピックの代表権は、世界選手権、大陸別選手権（日本はアジア選手権）など、ISSF国際射撃スポーツ連盟が指定した選手権大会に男女各150枠、合計300枠が割り当てられています。2022年の世界選手権からQPと呼ばれる代表出場枠をかけた戦いは始まっていて、すでに多くの枠が決定しています。

ここで一つ注意したいのは、大会で得たQPは個人ではなく、その選手の国に与えられたものであるという点です。獲得した枠で誰を出場させるか、についてはその国に一任されており、出場規定を満たしていれば獲得してきた選手でなくてもかまわないということになっています。また、一人の競技者がその国の代表として獲得できるQPは一つのみ、また1種目につき1カ国2名まで、と決められています。

現在、日本はバクーで開催された世界選手権で吉岡大選手が、チャンウォンで開かれたアジア選手権で岡田直也選手がQPを獲得してきましたので、ライフル（AR）、ピストル（RFP）で1枠ずつ取得しているという状況となっています。

さて、ここからの道のりですが、

残りのQPを獲得するためには、3つの段階があります。

第一段階は、この冬号がみなさんのお手元に届く頃、ジャカルタで行われるアジア選手権大会です。これはアジア最後のQPを取得することができる大会で、1種目につき、出場枠は2枠割り当てられています。順位の上位者2名が取得することになりますが、すでにその選手が獲得している場合、その選手をのぞいた上位者となります。

第二段階が、ブラジル・リオで開催される、ファイナルクオリフィケーションチャンピオンシップという最終予選会です。オリンピックのための予選会なので、すでにQPを取得している選手をのぞいて行われます。ここでも1種目につき2枠が割り当てられます。

第三段階は、ファイナルクオリフィケーション後にバクーとミュンヘンで行われる、ワールドカップを経た最終段階です。その時点でオリンピックランキングポイントで決定するもので、ポイントの上位者がすでにQPを獲得している場合、次に高い順位の1名に与えられます。例えば、1位の選手と2位の選手はすでにQPを持っていたら対象から外れます。3位、4位もすでに持っているれば除外となり、5番目の選手はQPを獲得していないけれど、1位、3位の



## 佐橋朋木強化委員長が語る パリオリンピック、ここからの道程

いよいよオリンピックイヤーの幕が開けた。現段階でオリンピックの出場枠はライフル、ピストルともに1枠を獲得している。ここから大会本番に向け、『TEAM JAPAN』最後の戦いが始まる。これからの半年について、総司令官の佐橋朋木・選手強化委員長に説明していただいた。（2023年12月13日収録）

選手と同じ国だった場合、選手および国として出場権を有していない選手となっているため、6番目の選手にQPが与えられる、ということになります。これは、実力はあるが選手権では出場権をとれなかった選手への救済制度といえるでしょう。また、第二段階までのQPは国に与えられますが、このオリンピックランキングポイントとは個人に与えられた資格、というところが大きく異なる点となります。

### 日本では QPを獲得してきた選手が 代表となる

このような3つの段階を経て、オリンピック本番を迎えることとなります。

QPは国に与えられたものではありませんが、苦しい思いをしてそれぞれの選手が獲得してきた権利です。基本的には、とつてきた選手を代表として出場させるといのが私たちの考えです。

アジア選手権のQP獲得ニュースについてはホームページをご確認ください。4月に開催されるファイナルクオリフィケーションチャンピオンシップ出場選手は、3月に選考会を開催します。オリンピック予選には、ISSFが主催する世界選手権やアジア選手権に2回以上出場している、オリンピック

ランキングポイントで1ポイント以上獲得している、という条件がありますので、国内選考もそれに準じた形としました。

各選手が獲得しているオリンピックランキングポイントについてはISSFのホームページに掲載されていますので、気になる人は確認してみてください（ページ内のQRコードから入ることができまます）。

### 強化として、 やっけていくことに変わりはない

ここからの約半年間。いままでと同じように「チームジャパン」として戦っていきます。選手はみな、実力を出しさえすればQPを獲得できる、と信じています。私がやるべきことは、さまざまな人とコミュニケーションをとりながら、他の選手の状況などの情報収集や、運営上やルール上問題となる点をミートイングするといった実務的なことです。選手に関する細かいことは、オリンピック選手として実績がある松田知幸さん、各ナショナルコーチが寄り添ってくれていますので、お任せしています。ここからの半年もこれまでと同じことを私たちは繰り返し、選手もこれまでと同じようにさらに成長するために練習し、試合に出場する。その結果が、オリンピックにつながっていくと考えています。



◀オリンピックランキングポイントはここから

# 射手の美学

その活躍には理由がある

小さな勇気。それがその後の人生の進路を大きく変えた。

人工関節を入れて動けるようになったので、何かやりたくなっただけですね。そんなときにたまたまテレビ番組でビームライフルを見て、これだったらできそうだな、と思いました。早速、インターネットで検索し、障がい者の方がやっている仲間募集のようなホームページを見つけてきました。でも、本来の私はどちらかというと消極的な性格だったので、すぐにアクセスする勇気はなくて、どうしようかなって悩んで、1週間後も覚えていたら、この人にメールを出そう、と決めました。そうしたらね、ちょうど今日が1週間目という日に思い出したというか、思い出しちゃったというか(苦笑)。

「ここには障がいを持つ仲間がいっぱいいて、安心感がある」  
始めたその日から、射撃練習は楽しい場所となった。

始めですぐに楽しくてハマりました。標的に当たることも嬉しかったですが、なにより居心地がよかったです。友人们と多少無理をしてもいいかな、と一歩踏み出したら強化選手から落ちちゃうというようないろんな接戦で、練習しなければいけない思いに縛られていました。日

本格的にやるようになったのは、パラリンピックという障がい者の大会がある、と聞いてからです。オリピックが大好きでしたし、可能性があるなら私もそこに挑戦したいと考えるようになりました。

2001年12月にエアライフルの所持資格を取得し、04年出場したアテネパラリンピックで8位に入賞しました。このときは、「ファイナルに残る」という強い気持ちを持って臨んだので、目標が達成できて満足でした。いま振り返ると、当時の私はいまより若く、勢いがありましたね。その後、ロンドン、リオと出場しましたが、この2大会は勝たなくてはいけない、という気持ちが強く、とにかく必死でした。一歩足を踏み外したら強化選手から落ちちゃうというようないろんな接戦で、練習しなければいけない思いに縛られていました。日

2018年の世界選手権後、介護のために射撃から離れ、一昨年射場に戻ってきた。強化選手選考会から復帰し、数年間のブランクを感じさせない活躍で、5月のワールドカップでパリパラリンピックの出場枠を獲得。いま、パリパラ代表にもっとも近い選手の一人である。

みると、射撃によって私の性格は大きく変わったな、とつくづく感じます(笑)。射撃を目指す前は、どちらからというとお話したように、「お先にどうぞ」という消極的なタイプだったんですが、いまは積極的に射撃が上手になりたいと思うんです。以前の私を知るパラ射撃のハイパフォーマンスディレクターの田中(辰美)さんには、「瀬賀さんは30歳を過ぎてから青春だね」と言われています(苦笑)。もう以前の自分には戻れない…とはいつても、どこかに昔の自分もいて、こうして取材を受けるのに抵抗を感じる私がいるんです。「引き受けて大丈夫？」って。でもね、そんな自分を射撃が引っ張り出してくれて、いろんな景色を見せてくれます。

## 楽しみながら60発を撃つ。それが高得点だったら最高のパフォーマンス



### 瀬賀亜希子

せが・あきこ エアライフル

1965年10月12日生まれ。東京都三鷹市出身。17歳でリュウマチを患い、車椅子生活になる。その後、人工関節の置換手術を行い、36歳で射撃を始める。2004年アテネパラリンピックに出場して8位に入賞。2012年ロンドン・2016年リオデジャネイロパラリンピック出場。2018年世界選手権出場後、競技生活から離れ、2022年に復帰。2023年5月に開催されたWSPSワールドカップ・昌原「エアライフル伏射SH2クラス」で女子2位となり、日本に一つ目のパリ出場枠をもたらした。

たままの射撃になっちゃうんです。その位置もその日の体の感覚があるように、毎回微妙に異なるから厄介です。改めてこれまでを振り返って

# 射座のなかは居心地のよい聖域だった



## 木場良平

こば・りょうへい **ライフル**

1962年12月13日生まれ。鹿児島県出身。鹿児島実業高校—自衛隊体育学校。現在、ふるさとまちづくり企業・株式会社リゾン。高校で射撃と出会う。1980年第2回アジア女子/ジュニア射撃選手権大会、1982年第9回アジア競技大会出場。1986年第10回アジア競技大会優勝。オリンピックでは1984年ロサンゼルス、1988年ソウル、1992年バルセロナに出場し、バルセロナでは3姿勢で銅メダルを獲得。翌アトランタ大会出場目指すも、代表になることはかなわず、指導の道へ。6年前に自衛隊を定年となり、同時に銃を置き、新たな道を歩いている。

結果、1年後の1982年ニューデリー(インド)で行われたアジア競技大会の代表となり、そこから自分が行くべき場所がオリリンピックだ」と考える

射撃はもう「お腹いっぱい」(笑)。十分やりました。現在、体験会などのイベントで射撃に携わることがありますが、私がやってきた時代から、射撃競技は標的、銃、装備とさまざまなものが変わりましたがね。世界からの情報も瞬時に入ってくるようになり、環境が非常によくなりました。

「旅行に行けるよ」という言葉に誘われて鹿児島実業高校で射撃を始め、わずか1年でジュニアの日本記録を樹立。以来、日本代表として数々の大会で成績を残したレジェンドである。

高校2年のとき、埼玉県朝霞市で日本代表選手が集まって合宿が行われ、ジュニアの一人として参加しました。日本記録として認定するという記録会も開かれ、そこで私はたまたまジュニアの日本記録を出したんです。中学まで軟式

野球、バレーボールといった団体競技をやっていたのですが、このあたりから団体競技にはない、個人競技の面白さにハマっていきました。

ただ当時の指導は先生ではなく、先輩たちでした。昭和の時代の先輩後輩の関係ですから、それは厳しかったですね(苦笑)。理不尽だ

と感じたこともありました。それに対して、暴力ではなく競技の場で結果を出すのが先輩たちにより返せる手段だと思い、とにかく練習しましたね。元来、負けず嫌いなんです。射座に入れば先輩たちも何も言いません。射座のなかには完全に自分の時間で、聖域みたいな場所でした。居心地がよく、誰にも邪魔されずに練習することができました。振り返ると、それがバネになり、成績につながっていったのかもしれないね。

高校卒業後は地元で職探しをする予定だった。射撃は面白かったが、自分のレベルでは世界に通用しないのではないかという思いがあったからだ。その背中を押したのが、スポーツに理解のある家族だった。

父から「男に生まれたのだから、人生1回くらい勝負してみろ」と言われ、進路を変え、自衛隊体育学校に進むことになりました。でも、そこで待っていたのは国体やオリンピックで活躍している、一流の選手たちです。一緒に練習すると、とにかく弾痕が違いました。当時は一番下のものが標的の片付けや張り替えをする役目だったんですが、先輩たちの標的を見ると私のものとは異なり、弾痕がまともまっているんです。それを見て、この人たちが勝負していかなければ世界もオリンピックもないのか、1年で鹿児島に帰ることになる」と思っていました。

でも、それがかえってよかったのだと思います。さらに努力をしなれば勝てないということがわかり、とにかく練習しました。そのようになり、1984年ロサンゼルス、1988年ソウル、1992年バルセロナと3大会に連続してオリリンピックに出場しました。成績としては銅メダルを獲得しましたが、もともと調子がよかったのは、その前のソウルです。エアライフルでは4位通過できるはずでしたが、最後の一発をはずしてしまい、結果は12位。あと一歩のところでファイナルに進むことができなかったという大会です。それがすごく悔しくて。その悔しさをバネに頑張った結果がバルセロナオリリンピックのメダルにつながった、と思っています。

6年前に定年となり、自衛隊を離れ、新たな仕事についていた銃はすべて手放し、母校へ寄付してしまっただけです。

いまの選手たちはそのあたりをしつかりわかっていると思います。パリオリリンピックで勝てるチャンスはいくらでもあるでしょう。楽しみですね。



## 「今日のあたり前」を支え、 「明日のあたり前」をリードする。

何気ない暮らしを、不断の努力とリーダーシップで支えつづける  
変化を楽しみ、多様な人・技術・アイデアの掛け算の発想で、挑みつづける

日々の暮らしの中の、あたり前のような景色。  
それらは、「あたり前」にそこにある訳ではない。

「今日のあたり前」の生活があたり前でなかった時代から、  
私たち ENEOS グループは常に先駆者として、  
その時々の日常に不可欠なエネルギー・素材を  
開発し支えることに全力を注いできた。

そして今、脱炭素・循環型社会という、  
「明日のあたり前」の実現へ。  
そのためには、  
次世代のエネルギー・素材・サービスが求められている。

私たちはこれからも先頭に立って挑戦し、  
次なるあたり前を創りつづける事で、  
常に社会から信頼され、求められる存在でありたい。

ボクも、ワタシも、  
10点、出したよ!

# 聴覚障がいの子どもたち、 スポーツ射撃に挑戦

ビームライフル・ビームピストル体験会&講演会  
in 川崎市立聾学校

日時:2023年11月14日(火)  
13時10分~15時10分  
場所:川崎市立聾学校/神奈川県  
主催:公益社団法人日本ライフル射撃協会  
協賛:ENEOS株式会社



体験会に入る前に、2008北京・2012ロンドン・2016リオ代表(ピストル)のオリンピック松田知幸氏、2004アテネ・2008北京・2012ロンドン代表(ライフル)のパラリンピアン田口亜希氏による講演を実施。「自分自身をコントロールする力は大切な要素」「自分自身と向き合うことが大事」という話に、子どもたちは熱心に聞き入った



スポーツ射撃3発チャレンジ個人戦の成績優秀者(右端:松田氏、左端:田口氏)

誰もが安全に楽しむことができるよう開発された、日本発祥のビームライフル・ビームピストル。これを使用し、気軽にスポーツ射撃を楽しんでもらう体験会を行い、好評をいただいている。

今回、年齢、障がいの有無など関係なく、誰もが楽しめる競技であることを体感してもらいたい、と社会貢献に積極的に取り組んでいるENEOSの協力を得て、公立の聾学校で実施した。その様子をレポートする。

## 小さなコミュニティから

### 一步を踏み出すきっかけに

これから何が始まるのかなー。  
そんな気持ちだったのだろう。  
緊張した面持ちの生徒たちが一人またひとりと体育館に集まってきた。いつも使っている体育館なのに、見知らぬ人たちとその雰囲気、戸惑うのも無理はない。

年齢、性別、障がいの有無に関係なく、みんな一緒に楽しめる共生スポーツとしての射撃を知ってもらいたい、と協会では積極的にこの体験会を行ってきた。この趣旨に賛同し「ぜひうちの生徒たち

にも体験してもらい、さまざまなことに触れ合うきっかけにしたい」(松岡祐樹先生)という学校からの依頼と、2025年に迫ったデフリンピックの周知活動を兼ねてこのイベントが実現した。

参加した生徒はこの学校に通う中学生・高校生約20名。青組・黄組・緑組・赤組のグループに分かれ、一人ずつ10分間練習し、合計点を競う3発チャレンジに挑戦してもらって次の人に交代。合計点で順位を決定するという方法で競い合った。

最初はおずおずと銃を手にした

子どもたちも、当たったことを知らせる王冠やランプが光るとすぐに夢中になった。指導にあたる講師たちからの「すごいよ! 10点だよ」「いいね! これならロサンゼルスオリンピック(2028)を狙えるよ」という声が聞こえるようになり、講師や仲間たちとハイタッチをする姿も見られた。

撃ち終わった子どもたちに声をかける。みな、口々に「面白かった」と声をそろえ、そのなかの一人、中学2年生の宗政に「さんは、「おもちゃと違って(ビーム)射撃は本物って感じ。集中して撃つのが面白かったし、撃ってる自分、かっこいいんじゃないって思いました」と、興奮した様子で話してくれた。

「射撃体験以外にオリンピック・パラリンピアンの方が『自分との戦いだよ』というお話をしてくださったおかげで、子どもたちには何か少し感じとってくれたのではないかと思います。聾学校は小さなコミュニティ。こうした活動から一歩外に出るきっかけづくりになれば、と願っています」(松岡先生)

終了後、子どもたちはすっかりと打ち解けた表情で、スタッフに「ありがとうございました」と笑顔を見せてくれた。心がぽつと温かくなった。

## ■成年男子

### 50mライフル三姿勢

- 1位 花川 直樹 (大阪)
- 2位 島田 敦 (埼玉)
- 3位 橋爪 一馬 (滋賀)

### 50mライフル伏射

- 1位 垣見 昌男 (大阪)
- 2位 織田 祐宏 (福井)
- 3位 前田 裕太 (千葉)

### 50mライフル膝射

- 1位 中村 優汰 (群馬)
- 2位 織田 祐宏 (福井)
- 3位 町田健太郎 (和歌山)

### 10mエアライフル立射

- 1位 岡田 直也 (岡山)
- 2位 篠原 章宏 (福井)
- 3位 遠藤 雅也 (岐阜)

### 10mエアライフル伏射

- 1位 岡田 直也 (岡山)
- 2位 篠原 章宏 (福井)
- 3位 岩崎 貴文 (滋賀)

### 10mエアピストル

- 1位 園田 吉伸 (埼玉)
- 2位 蟹江 良平 (東京)
- 3位 佐藤 宗哉 (大分)

### 25mセンターファイアピストル60発

- 1位 松本 洋 (愛知)
- ※日本新・大会新

### 25mセンターファイアピストル30発

- 1位 松本 洋 (愛知)
- 2位 井下 友裕 (香川)
- 3位 岩上 直樹 (群馬)

# かごしま国体

コロナウイルスによるパンデミックで休止となった、第75回かごしま国体。この国体が3年の時を超え、特別国民体育大会射撃競技として10月8日(日)から4日間、鹿児島市内で開催された。昭和21年から長く親しまれてきた国民あがてのスポーツ祭りは、この鹿児島の地でその名を終え、来年からは新しく「国民スポーツ大会」としてスタートすることとなる。

射撃競技は全部で21種目行われ、チーム射撃はハートピアかごしまで、その他の種目は鹿児島県ライフル射撃場で行われ、男女総合成績1位には滋賀県が輝き、大分県、埼玉県と続いた。この国体の射撃競技の様子をお伝える。

## チーム射撃会場の声

たいち ひなた  
泰地 陽詩 (徳島県 / BR)

自分が納得する点を撃ちたくて、自分がやりきったって思えるような点数が撃てるようにと臨みました。チームライフルは高校生までなのでちょっと名残惜しいところもありますが、高校で頑張ってきた最後の一発に感謝の気持ちを込めて撃ちました。それに伝えてくれました。これからはエアライフルで頑張っていきたいと思います。

えがわしゅうは せがわ さくら  
江川翔波・瀬川 桜 (埼玉県 / BR)

今日の勝因はなんといっても仲間の応援だと思います。撃っている最中も仲間たちの声が聞こえてきて、すごく力になりました。産休でお休み中の顧問の先生も、きっと埼玉からパワーを送ってくれていたと思います。

まつもと かなは  
松元 奏羽選手 (鹿児島県 / BR)

地元での国体が決まってから、ずっとここを目指して頑張ってきました。目標はファイナルに出場することだったので、目標は達成できました。これからエアの取得を目指していきます。次はエアで国体に出られるよう頑張ります。

こうの ゆうり  
河野 優羽 (鹿児島県 / BR)

地元国体なので、この舞台に立ちたいと思って3年間頑張ってきたと言っても過言ではありません。この舞台に出られて本当によかったし、たくさんの人たちのおかげでいまの自分があるので、これからも感謝の気持ちを忘れずに、自分にできることを精いっぱい頑張っていきたいと思います。射撃は社会人でも続けていきたいと思っています。



チームライフル少年女子立射



チームライフル MIX 少年



## ■成年女子

### 50mライフル三姿勢

- 1位 平田しおり (石川)
- 2位 新里葉津紀 (鹿児島)
- 3位 千葉 朔海 (千葉)

### 50mライフル伏射

- 1位 川原 楓 (福岡)
- 2位 新保 結希 (東京)
- 3位 平田しおり (石川)

### 10mエアライフル立射

- 1位 野畑 美咲 (大分)
- 2位 鈴木 志佳 (埼玉)
- 3位 三浦 莉桜 (福井)

### 10mエアライフル伏射

- 1位 野畑 美咲 (大分)
- 2位 田邊 伶奈 (岐阜)
- 3位 藤枝 乙葉 (三重)

### 10mエアピストル

- 1位 北嶋那美子 (東京)
- 2位 山田 聡子 (埼玉)
- 3位 村上 香穂 (奈良)

### ■MIX成年

- 10mエアライフルMIX
- 1位 岐阜県
- 2位 大分県
- 3位 福井県

### ■総合成績

- 天皇杯 (男女総合成績)
- 1位 滋賀県
- 2位 大分県
- 3位 埼玉県

### 皇后杯 (女子総合成績)

- 1位 大分県
- 2位 東京都
- 3位 石川県

■少年男子

10mエアライフル立射

- 1位 長屋 光珀 (岐阜)
- 2位 高岡 優介 (愛知)
- 3位 青木 優也 (徳島)

ビームライフル立射

- 1位 松原 靖 (滋賀)
- 2位 實川 巧起 (千葉)
- 3位 大石 拓海 (徳島)

ビームピストル

- 1位 森田 馨介 (茨城)
- 2位 中山惇之丞 (岡山)
- 3位 久保山紘多 (大分)

■少年女子

10mエアライフル立射

- 1位 櫻村 心 (熊本)
- 2位 細見 和 (滋賀)
- 3位 山田 咲来 (高知)

ビームライフル立射

- 1位 泰地 陽詩 (徳島)
- 2位 山崎 純菜 (神奈川)
- 3位 山崎わかな (滋賀)

ビームピストル

- 1位 浦部穂乃加 (愛媛)
- 2位 田中 陽彩 (大分)
- 3位 山元 和 (鹿児島)

■MIX少年

ビームライフルMIX

- 1位 埼玉県
- 2位 徳島県
- 3位 滋賀県

国民体育大会直撃レポート

燃ゆる感動

～熱い鼓動

風は南から～



燃ゆる感動 かがし国体 WELCOME KAGOSHIMA CITY 2023 2023.9.16-9.24 / 2023.10.7-17

国体 ここだけの話

国体は日頃あまり馴染みのない競技を観戦することができる、絶好の機会だ。そのためには、気軽に行けることが大切。ライスポでは一観戦者となって交通機関を利用して会場、観光地見学に出かけた。ビーム射撃会場へは市内バスで鹿児島中央駅から約10分、料金は190円。障害者施設を使用しているので、観戦ビギナーの観覧環境としては非常に便利。

一方、県の射場はビーム射撃会場から30分ごとにシャトルバスが出ていて、所要時間は10分程度だったが、駅からとなると直通のシャトルバスはなく、市バスからの乗り換えが必要だった。また残念ながら、観客席が室内ではなくテントだったこと、飲食できる状況もないことなど、ビギナーには少しハードルが高いと思われた。

どちらの会場も観光には絶好の立地で、市内バスや路面電車を利用すれば、桜島が見られる港まで簡単にいくことができた。観戦も観光も楽しみたい派には、素晴らしい開催地だった。



10m エアライフル立射

10m エアピストル





いそべ としお 磯部 俊雄 (福岡県/AR)

射撃競技を始めて50年ぐらいになります。近頃は思うように見えなくて、あんな撃ち方をしたのは初めてというくらい、今回はひどかった。見えないのはどうしようもないけれど、何か方法を考えないかですね。

自宅に射撃場がありますが、ここは高校生の練習場。私自身は毎週末、県の射撃場に通って練習しています。なんといっても、挑戦することが楽しいですから。まだまだ現役を続けます。

射撃に立って半世紀。  
国体射撃競技のレジエント



50m ライフル男子伏射



男女総合成績



10m エアライフル少年少女立射



女子総合成績



10m エアライフル少年男子立射



10m エアライフル女子伏射

地元国体を  
陰で支えた



まつざわ なおあき 松澤 尚明監督 (鹿児島県)

コロナで3年先送りになって実現した今回の国体。選手として想定していた高校生が大人になり、いくつかの種目では選手の調整などで若干苦勞することはありましたが、その一方で、たくさんの県の方々にお世話になりました。高校生と初出場の選手が入賞してくれましたので、少し恩返しできたかなと思っています。地元でこうした大会ができたということは、頑張っている選手たちにとって、とてもありがたい機会となりました。

国体から国スポへ  
2024年佐賀国民スポーツ大会で  
会いましょう



第二次世界大戦終戦の翌年、スポーツの普及と国民の体力向上、地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与することを目的に、国民体育大会が始まった。「国体」の呼び名ですっかりおなじみだが、前述したようにこのかごしま国体で終了。今年から「スポーツ」の価値を世界の人々と分かち合い、「スポーツ」を通じた社会変革に向け世界各国と協調していくため、という趣旨から、「国民スポーツ大会」と名称が改められる。

大会名称自体も新しくなり、「する」「観る」「支える」が国スポのコンセプト。選手のみならずにはぜひ頑張ってください。

(写真はリハーサル大会)

ビームライフルで射撃スポーツを始めましょう！

# BEAM·RIFLE SHOOTING SYSTEM

## ビーム・ライフルの特徴

- ビーム・ライフルの光源はキセノン管発光で、人体には影響のない安全な光です。
- 標的装置の設置は水銀灯、白熱灯、蛍光灯などを使用する体育館や教室で利用できます。



ビームライフル ジュニア用 型式 MBR-203J

この銃は 3.0kg と軽量で、全長も小中学生などに合わせた入門者向けのモデルです。バットプレートは体格に合わせて、前後に調整できます。専用バッテリー、サイトセット、ハードケースが付属します。



ビーム・ライフル 型式 MBR-201

この銃はチークピースの調整を容易にした、バランサー付の競技者向けのモデルです。

## ビームライフル・システム



ターゲット装置  
型式 MT-201



ディスプレイ装置  
型式 MD-201L



プリンター装置  
型式 MP-216

〔製造・発売元〕

**=KOTO= 興東電子株式会社**

本社 〒306-0232 茨城県古河市東牛谷 603-2

電話 0280-98-3387 FAX 0280-98-1180

http://www.kohto.co.jp E-mail: info@kohto.co.jp

## 第19回アジア競技大会

開催地：中華人民共和国・杭州  
開催日：9月24日(日)～10月1日(日)  
報告者：佐橋 朋木/選手強化委員長

### RESULTS

#### RFP チーム

6位 森 栄太・吉岡 大・市川 広義

#### AR 男子チーム

6位 島田 敦・遠藤 雅也・清水 彰人

#### SP 女子チーム

6位 山田 聡子・財津 美加・佐々木千鶴

#### R3P

6位 平田しおり

#### R3P 女子チーム

5位 中口 遥・松本 靖世・平田しおり

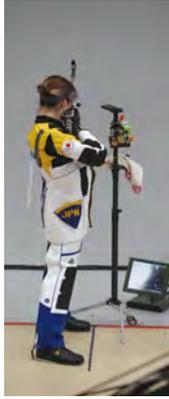
#### R3P 男子チーム

7位 島田 敦・遠藤 雅也・清水 彰人

#### AP MIX チーム

5位 森川 清司・山田 聡子

※ブロンズメダルマッチ敗退



### 総評

アジア競技大会はメダル獲得を目標に挑みました。RFPはトラブルがいくつか重なり残念ながらメダル獲得には至りませんでした。RFPチームとしての強さを見せてくれました。

個人としては平田しおり選手がファイナル進出、エアピストルミックスチームでもブロンズメダルマッチ進出を果たしました。

もりかわ せいじ  
**森川 清司** 選手 広島県警察

「団体種目で挽回を」という気持ちで臨みました。本選前半は空回り気味でしたが、後半から緊張と集中力がよいバランスになり、自分がやりたい射撃ができました。アジア大会で決勝の舞台に立てたことは大きな経験になったと思いますので、次につなげていきたいです。

やまだ さとこ  
**山田 聡子** 選手 陸上自衛隊

チームとして掲げていたメダル獲得という目標に、チーム全体で戦えたと思います。メダル獲得には届かずとも悔しかったですが、チームのみんながたくさん応援してくれました。応援ありがとうございました。

## 第15回アジア選手権大会 チャンウォン

開催地：韓国・チャンウォン  
開催日：10月22日(日)～11月2日(木)  
報告者：佐橋 朋木/選手強化委員長

おかだ なおや  
**岡田 直也** 選手 ALSOK

今大会決勝では4位の選手に0.1点勝ち、2位の選手に0.1点差で3位、と紙一重の勝負でした。QPを獲得でき、再びオリンピックメダルへのチャレンジができることを嬉しく思います。今後も競技と写真にご期待ください。



### RESULTS

#### AP

6位 相澤ひかる

#### 50mP60

6位 岡田 直也

8位 大塩 勇斗

#### 50mP60

5位 松本 靖世

#### RFP

2位 吉岡 大

#### AR

3位 岡田 直也

#### R3P

4位 岡田 直也

### 総評

岡田直也選手がAR男子で銅メダル獲得し、QPを獲得しました。また、50m三姿勢では、圧巻の595点の日本新記録で2位ファイナル進出(1位は597点の中国のジュニア選手 世界新記録)。ファイナルは惜しくも4位でした。

吉岡大選手はRFPで銀メダル獲得。強さを見せつけました。相澤ひかる選手はAP4位でファイナルに進出。6位という成績で、QP獲得まであと1人でした。

### Athlete Coloum

#### 韓国アジア選手権を終えて

吉岡 大 (京都府警察)

射撃競技において筋トレは重要ではないと昔からいわれてきたと思います。「そんなに筋肉あっても意味ないよ」「なにを目指してるん？」など、さまざまなことを言われてきました。しかし、私はあえてここで、絶対に筋トレは必要であると断言したいと思います。

なぜか？ それを知るにはまず自分から筋トレをする必要があります。これまでの経験上、なぜ？ と問う人のほとんどが否定的な意見をする人でした。そしてそれを言う人に筋肉はありませんでした。つまり、自分が筋トレをやったこともないのに問うているわけです。

そのため、私が筋トレが必要な理由を伝えても意味が伝わらないのです。さあ、その「筋トレ必要？」と問う前に腕立て、懸垂、スクワットを試してみましょう。筋トレが必要な理由が見えてくるかもしれません？

※595点(日本新記録)Final438.6点



## 杭州2022アジアパラ競技大会

開催地：中華人民共和国・杭州  
 開催日：10月22日(日)～28日(土)  
 報告者：田中 辰美/ハイパフォーマンスディレクター

### 総評

17の国・地域から、208名の選手が参加。今回のアジアパラ競技会の射撃競技では、初めてパラリンピック出場枠が配分されました。

岡田和也選手がR3で、水田光夏選手がR5でパラリンピック・パリ大会の出場枠を獲得。瀬賀亜希子選手(R5)に加え、日本のパラリンピック出場枠は3となりました。また、水田選手は、本選3位で決勝に進出、決勝で3位となり銅メダルを獲得しています。

本大会では、テクニカルデレゲートの藤井彌(日ラ事務局長)を始め、日本人4名がジュリーを務めました。



### RESULTS

#### R3) AR 伏射混合 SH 1

10位 岡田 和也  
 (サイネオス・ヘルス・コマーシャル)  
 17位 渡邊 裕介 (渡辺石灰)

#### R5) AR 伏射混合 SH 2

3位 水田 光夏  
 (白寿生化学研究所)  
 7位 瀬賀亜希子 (埼玉県)

#### R6) R 伏射混合 SH 1

7位 岡田 和也  
 12位 渡邊 裕介



みずた みか  
**水田 光夏** 選手 白寿生化学研究所

今大会では目標としていたダイレクトスロットを獲得。国際大会で初めて個人としてメダルを獲得することができ、また多くの方に支えられているおかげで競技ができていると強く感じた大会でした。

おかた かずや  
**岡田 和也** 選手 サイネオス・ヘルス・コマーシャル

杭州アジアパラ競技会への参加は、私にとって大きな経験でした。競技を通じて、新たな自己を発見し、限界に挑戦することの喜びを噛み締め、これからも前進し続けます。



## 文部科学大臣賞争奪 2023年度全日本学生スポーツ射撃選手権大会 ／第70回男子総合／第36回女子総合

開催地：栃木県ライフル射撃場  
開催日：10月19日(木)～22日(日)  
報告者：小久保雄太／関東支部競技審判長

### RESULTS

#### 師尾記念賞(男女総合)

明治大学

#### 男子総合団体

- 1位 明治大学
- 2位 日本大学
- 3位 法政大学

#### 女子総合団体

- 1位 明治大学
- 2位 立命館大学
- 3位 日本大学

#### AR

- 個人1位 吉田 陸矢 (中央大学)
- 団体1位 日本大学

#### ARW

- 個人1位 三浦 莉桜 (明治大学)
- 団体1位 明治大学

#### AP&APW

- 総合1位 平野 翔太 (東洋大学)

#### FR3 × 20

- 個人1位 橋本 昂希 (法政大学)
- 団体1位 明治大学

#### R3 × 20

- 個人1位 神村 彩実 (中央大学)
- 団体1位 明治大学

#### FR & R60PR

- 1位 山森 月乃 (同志社大学)



### 総評

主管である関東支部を中心に、他支部の学連委員も出役し、さらに学連 OBOG の深澤佑樹さんと岡田亜美さんに TD および CM 補佐としてご協力いただいてスムーズに運営できました。競技規則 7.5.1.2 による DSQ (失格) が 1 名出てしまったので、今後は各校ヘルールを周知して失格を防ぎたいと思います。会計面では栃木県スポーツ大会等開催費補助金を利用し、移手段がない選手のために JR 宇都宮駅から射場まで毎日シャトルバスを運行したほか、公式練習の射座代を無料にして参加校に還元しました。

期間中、UNIVAS による写真撮影、ファイナルの動画配信を行いました。また、会場内に設置した JADA のブースで、アンチドーピングについて質問する選手が多く見られ、貴重な機会になりました。

### 講評

今回、学連 OBOG としてお声がけいただき、運営に参加させていただきました。学生時代に培った運営・審判員スキル、卒業後の東京オリパラや国際大会の経験を活かし、「選手がベストを出せる環境」を実現できました。

大学卒業後は競技を続ける以外にも大会運営として射撃に関わることができません。選手としてのご活躍をお祈り申し上げるとともに、一緒に大会運営ができる日が来ることを楽しみにしています。(深澤佑樹/岡田亜美)



## 全日本ライフル射撃競技選手権大会 25mピストル

開催地：ナショナルトレーニングセンター  
開催日：11月17日(金)～20日(月)  
報告者：佐橋 朋木/選手強化委員長

### RESULTS

#### RFP

1位 吉岡 大 (京都府警察)

#### SP

1位 星野 優奈 (警視庁)

#### STP

1位 岩田 泰輝 (兵庫県警察)

### 総評

RFPは飯村嘉一選手(警視庁)がアジア選手権での好調をキープし、本選581点で1位通過。しかしながら、経験値で上回る吉岡大選手がファイナル日本新に迫るポイントで圧巻の優勝。

25m女子ピストルは本選5位通過の星野優奈選手が山田聡子選手に1ポイントリードで逃げ切り、涙の初優勝となりました。

開催が2020年から3年ぶりの開催となったスタンダードピストルは岩田泰輝選手(兵庫県警察)が優勝し、大きな優勝カップを抱くことができました。



いわた やすてる  
**岩田 泰輝** 選手

この度、全日本選手権大会25mスタンダードピストルにおいて優勝することができました。この優勝は同僚、先輩方、家族の応援があってこそのものだと思っています。本当にありがとうございます。

この種目の出場は初めてでしたが、主として行っているRFPで培った速撃ちの知識と、CPで培った精密射撃の知識をうまく組み合わせることができました。

全日本大会での優勝杯を手にしたことを糧として、今後の各種国際大会に出場できるよう強くなります。



ほしの ゆうな  
**星野 優奈** 選手

全日本選手権大会優勝という結果を残せたこと、本当にみなさまに感謝しております。

これまでご指導をいただき、そして、ご声援をいただいたみなさま方に優勝という最高の結果で応えることができました。本当にありがとうございます。

これからみなさまからご声援をいただけるよう自己練習に励み、継続していい結果を残せるよう精進してまいります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

## パラ

## 第36回全日本パラスポーツライフル射撃競技選手権大会

開催地：スポーツバル高根の郷・静岡県  
開催日：11月17日(金)～19日(日)  
報告者：田中 辰美  
/ハイパフォーマンスディレクター



### 総評

R3では、アジアパラでパリ出場権を獲得した岡田和也選手が優勝。R5では、アジアパラで3位に入賞しパリ出場権をとった水田光夏選手が優勝しました。

R3では2名の選手が、R5でも2名の選手が初参加。少しずつ参加選手が増えてきています。

エアライフル立射SH1とエアピストルは、初めて健常者が一緒に競技に参加する、いわば共生大会の逆バージョンで開催。ビームライフル自由姿勢では、宮城柚那選手が3年連続優勝を達成しました。

さいとう やすひろ  
**齋藤 康弘** 選手

2連覇の重圧、初めてのファイナル経験ということで緊張しましたが、ファイナル終盤、みなさんの応援の拍手で緊張がほぐれて逆に心地よくなり、優勝できました。ありがとうございました。

もちづき たかひろ  
**望月 貴裕** 選手

今回も全日本パラで優勝できたことを嬉しく思います。来年も優勝を目指し、引き続き練習に励んでいきます。

### RESULTS

#### R4) AR MW-SH 2

- 1位 金尾 克 (YKK)
- 2位 木下裕季子 (オフィス木下)

#### AR MW

- 1位 望月 貴裕 (中部電力ミライズ)
- 2位 安野 智也 (三重県)

#### R5) ARPR MW-SH 2

- 1位 水田 光夏 (白寿生科学研究所)
- 2位 瀬賀亜希子 (埼玉県)

#### R3) ARPR MW-SH 1

- 1位 岡田 和也 (サイネオス・ヘルスコマーシャル)
- 2位 渡邊 裕介 (渡辺石灰)

#### AP MW

- 1位 齋藤 康弘 (神奈川県)
- 2位 森脇 敏夫 (ぎょうせい)

#### R7) FR 3X40-SH 1

- 1位 望月 貴裕 (中部電力ミライズ)

#### BRF MW

- 1位 宮城 柚那 (大阪府稲)
- 2位 東 宏 (大阪府稲)

#### BRT MW-SH1

- 1位 黒田 恭亮 (大阪府稲)
- 2位 森田 耕二 (大阪市長居)

# 射座に立てば、ライバル射座の外ではベストフレンド!



『東アジアユースエアガン大会』は、「日韓高等学校射撃大会」として、両国の青少年が交流を深めてくれることを目的に始められた。第1回大会は1981年という、長い歴史を持つユース大会である。コロナ禍で中止となっていたが、3年ぶりに栃木県ライフル射撃場で開催された。韓国、シンガポール、そして日本から男女12名の選手が参加して個人戦、ミックスチーム戦、国別対抗戦で順位を争った。終わってみれば、どの種目も金メダルは韓国が独占という、圧倒的な強さを見せた。

試合終了後は全員で栃木の名勝地・日光へ旅行に出かけ、交流を深める5日間となった。

外国人選手と日本人選手が顔を突き合わせ、なにやら話をしている。スマートフォンをかざし、時に発音し、時に笑いあい、とても楽しそうだ。「さっきは韓国の選手となにを話していたの?」思わず、泰地陽詩選手に声をかける。「かわいって韓国語でなんて言うの?」って、そんなこと話してました(笑)。海外の選手とこうして交流するのは初めて。せっかくの機会なので、話があったたんです」と返事が返ってきた。さすが10代。翻訳機能のついたスマートフォンを片手に、身振り、手振りで軽やかに言葉の壁を乗り越えていた。

しかし、その姿も射座に入ると一変する。先ほどまで笑い合っていた選手も、一度銃を構えればライバルとなる。引き締まった表情で標的を見つめ、引き金を引く。一人ひとり、四角い射座のなかで自分の世界へと入っていった。本選が終了。射座から出てきた日本の選手たちの顔が、一様に曇っている。「どうだった?」声をかけると、「海外の選手は強いです。日本の選手と全然違う」と返ってきた。

この大会に集まっているのは、日本の高校射撃界でトップを走る選手たちである。その選手たちが海外の同世代と対決。目の前で見せつけられた海の向こうの力に、誰もが衝撃を受けていた。

その理由を、現在TEAM JAPANのシヨナルコーチで、韓国代表としてかつてこの大会に出場しているキム・ウヨンコーチに聞いてみた。

「韓国とは差がありますね。でも、それは日本と韓国のシステムが違うせいです。韓国の選手は中学生でエアライフルを手にすることができるので、出場している選手たちは、もう何年もエアライフル、エアピストルを扱っています。それに対し、日本の選手は銃を持つてから時間があまり経っていません。ビームライフルはやっていますが、操作がやはり異なりますので、エアライフルに慣れていないのは不利ですね」

つまり、経験値に差があるのが現状だということ。こればかりは如何ともしがな事情である。



開催日: 2023年12月12日(火) ~14日(木)  
開催地: 栃木県ライフル射撃場  
スポーツ振興基金助成事業

## 大会スケジュール

- 11日(月) / 入国→移動(宇都宮市)
- 12日(火) / 10mAP、10mAR
- 13日(水) / 10mAPファイナル  
10mARファイナル  
10mAPMIXファイナル  
10mARMIXファイナル
- 14日(木) / 表彰式、閉会式  
文化交流(栃木県・日光)
- 15日(金) / 移動(羽田)→出国



①出場選手全員で記念の一枚②③射座のなかではライバル④⑤射座の外では友だちでできたよ⑥会場スタッフとしてアナウンスに、通訳にと走り回った立教大学の留学生、アントン・フィクさん(右端)とジョン・ソホさん(韓国/左端)⑦選手宣誓は森田馨介選手と泰地陽詩選手。二人で考えた英語のスピーチに「緊張してとちりました」(森田選手)⑧試合終了後、みんなで出かけた日光で。ハイ、ポーズ！ 見える言わざる聞かざる、決まってる？

そんな海外チームの表情は、静かに仲間たちの活躍を見守るシンガポールチームに対し、韓国チームは陽気で元気。時折、覚えてたの日本語を交えながら、楽しそうに仲間たちを応援している。両国とも、ユーストップの選手たちが今回参加している。

「今大会は勝利よりも、選手一人ひとりの成長が目的。期待どおり、新しい環境のなか、たくさんの経験を得てくれていると思う」と韓国のホン・ヨンオクヘッドコーチ。

「いつも国内で競争しているので、海外の選手と競争しなかった。もっと成長しなければと思いました」(キム・ドフン/ピストル)、「海外の選手のルーティンを見ながら、自分なりの感情のコントロールなどを考えていました。課題を修正できるいい機会になりました」(キム・ジュリ/ピストル)と、選手たちも今大会に手応えを感じているようだった。

\*

確かに、現段階では力の差はあるのかもしれない。しかし、選手はみんなまだ10代。伸びしろは無限大だ。この年代から海の向こうに目標となる強いライバルがいるとは、選手としてなんと幸せなことだろう。

試合はもちろん、開会式・閉会式もすべて英語で行われたのだが、閉会式で松丸喜一郎会長は選手たちにこう英語で問いかけた。

「みなさん。射撃で大切なことはなんだと思いますか？」

誰も答えを口にすることはなかったが、全員がすでに実践していた。友だちづくり。選手はみな、ここでたくさんの友を得て、新たなモチベーションを胸に帰途に着いたにちがいない。

## ■ Meyton(マイトン)電子標的システム



測定精度1/10mmを実現した

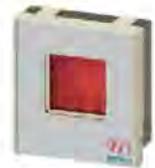
世界最高精度のシステム

192本の赤外線レーザーが交差することで全ての測定範囲において

1/10 mmの測定精度と

1/100mmの分解能を実現

し比類なき精度を実現。



### Meyton(マイトン)電子標的 導入射撃場 (順不同) :

新潟県立胎内ライフル射撃場(10m,50m)、福井県立ライフル射撃場(10m,50m)、宮城県ライフル射撃場(10m, 50m)、神奈川県立伊勢原射撃場(10m,50m)、くりはま花の国エアライフル場(10m)、茨城県菅野ライフル射撃場(10m,50m)、長野県中尾山射撃場(10m,50m)、沖縄県ライフル射撃場(10m,50m)、荒川区総合スポーツセンター(10m)、慶應義塾大学(50m)、中央大学(10m,50m)、日本大学(10m,50m)、明治大学(10m)、その他高校・大学多数導入

※メンテナンス (導入：國友銃砲火薬店様)：大阪府能勢町ライフル射撃場(10m,50m)、同志社大学(10m,50m)

國友銃砲火薬店様設置他射撃場につきましてもメンテナンスを行いますのでお気軽にお問い合わせください。

有限会社 三和管財

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田1326 TEL: 04-7143-6122 Fax: 04-7147-0745

Meyton社 / Noptel社 / Mantis社 / HoRa社 輸入代理店

### 今回のテーマ 射撃で大切な眼の機能

射撃は標的を見る競技です。したがって、標的を見る眼の能力はとても重要です。しかし、射撃にとってどのような眼の機能が重要なのか、詳しく書かれた本はありません。今回はこの『目の機能』についてお話ししていきます。

#### 視力とは

私たちが標的を見ると、標的の形は角膜・前房・瞳孔・水晶体・硝子体を通して、網膜に映るようになっていきます(図1)。もしもこの経路のどこかに病気があったら、視力が悪くなって、私たちは標的をクリアに見ることができません。このようなことから、標的がしつ

図1 眼の構造

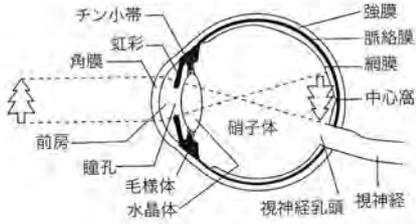


図2 ランドルト環

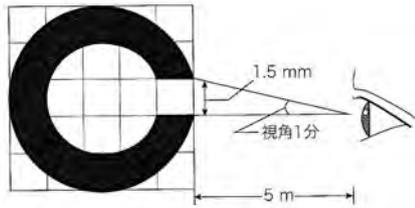
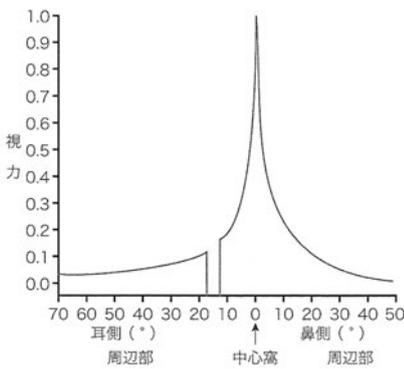


図3 網膜位置と視力の関係

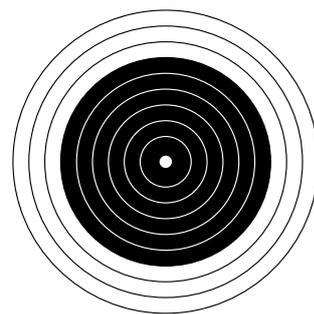


かりと網膜に映っていたかどうかを判断する一つの目安として、視力を検査します。視力検査は2点を2点として見分けられる能力を測定しており、検査では5メートル離れたところからランドルト環の1.5mmの切れ目が見える状態を「視力1.0」としています(図2)。この数値は視力の

良悪を判断する基準で、一般には視力は1.0以上あれば異常なしと判断されます。

視力は網膜すべての場所で均一ではありません。もともとよく見えるのは「中心窩」という場所です。したがって、視力は中心窩という1点で見える能力を測定しているといえます(図3)。また、視力はいつも安定しているわけではなく、眼の状態、年齢、生活環境でも変化します。視力が低下すると、ほかの眼の能力も低下しますので、視力を常によい状態に保つことはとても重要です。

図4 標的



#### 標的の形について

射撃の標的は、同心円の白黒のコントラストでつくられています。コントラストとは対象と背景の明るさの差のことで、眼はコントラストの差を敏感に感じます。また、同心円の形をした標的は、射撃選手に銃のブレの程度や方向を敏感に感じさせます。したがって、射撃選手は標的を細かい精度で見ることができれば、銃の方向だけでなく、重心の移動、身体の動き、心拍などによる体動から起こる銃のブレを敏感に感じることがができます。このように、標的を高い精度で見られるようになることは、射撃選手にとってとても大切なことなのです。この精度を高めるには、眼の屈折状態や調節機能を整

えることが重要です(図4)。

#### Profile

### 枝川 宏

えだがわ・ひろし

北里大学大学院卒。医学博士。日本眼科学会専門医。日本スポーツ協会公認スポーツドクター。医療法人社団えだがわ眼科クリニック理事長。順天堂大。国立スポーツ科学センター客員研究員。日本スポーツ振興センター スポーツ事故防止対策協議会委員。日本眼科医会 スポーツ眼外傷対策委員。日本ライフル射撃協会 医科学委員長。

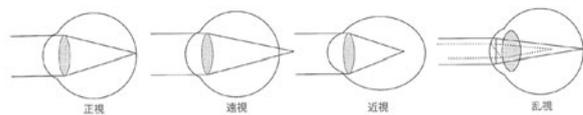


#### 視力と屈折異常

標的の見え方に大きく影響するのは、「近視」「遠視」「乱視」です。これらを眼科では「屈折異常」と呼びます。屈折異常のない眼を「正視」といい、「正視」の人は標的の形が網膜上にきちんと映るので、標的はクリアに見えます(図5)。一方、屈折異常がある人は、標的の形が網膜にきちんと映らないため、標的がクリアに見えない、かすんで見える、あるいはにじんで見えます。



図5 正視、乱視、遠視



ぶつて見える、歪んで見えます(図5)。

このように、屈折異常のある人は網膜にきちんとした標的の形ができないため、標的がクリアに見えませんが、また、屈折異常の種類によって見え方も異なります。

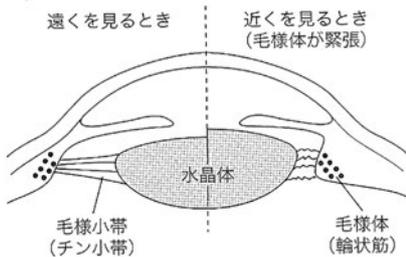
屈折異常は視力と関係していませんが、屈折異常の程度が軽い場合、視力1.0くらいは見えるため、日常生活ではほとんど困りません。しかし射撃では、視力1.0であっても屈折異常がある場合、標的がクリアに見えていたとはいえず、競技に影響が出てくると考えられます。射撃選手は通常の生活より、高いレベルで眼の機能を保つことを心がけてください。

**調節**

射撃選手は照準を合わせる時に標的、照門、照星を何度も見ながら、銃の向きが標的に合っているかを確認しています。しかし、

標的、照門、照星はそれぞれ眼からの距離が違うので、眼はそれらを一度に見ることができません。そのため、眼は水晶体の厚さを変えて、それぞれにピントを合わせます。射撃選手が照門、照星のようにな近くの物を見るとき、毛様体筋が収縮して、毛様体筋と水晶体をつないでいる毛様小帯という細かい線維が緩み、水晶体は厚くなります。逆に、標的のように遠くにある物を見るときは毛様体筋が緩んで毛様小帯は緊張し、水晶体は横に引つ張られて扁平になります(図6)。このような、ピント合わせをする眼の働きを「調節」といいます。射撃選手は標的、照門、照星にピントを合わせるたびに、反射的に毛様体筋を動かして水晶

図6 眼の調節のメカニズム



体の厚さを変えることを反射的に繰り返しています。このような照準を合わせるといふ作業は、毛様体筋や水晶体にとって、大きな負担がかかる作業です。この調節をする毛様体筋は、筋肉の種類が内蔵の筋肉(心筋を除く)と同じ平滑筋で、自律神経によってコントロールされています。これらは私たちが運動するときに働く横紋筋や運動神経とは異なっているため、毛様体は身体と同じようなトレーニングをしても鍛えることはできません。むしろ、眼のトレーニングはピント合わせがうまくできなくなるだけでなく、体調が悪くなることもあります。安易に行うべきではありません。

**まとめ**

射撃選手は普通の人よりも高いレベルの眼の能力が必要です。しかし、いつも見えている状態に慣れていると、その状態が自分にとってベストの見え方だと思っっている射撃選手が多くなります。射撃において「よい眼」とは、視力がよいことではなく、標的をクリアに見ることができるといふことです。自分にとって「いまの見え方がベストかどうか」どうか、眼を一度検査してください。

**射撃選手の眼と脳ここがポイント!**

視力が1.0以上あっても屈折異常のある人は、日常生活では支障がなくても、標的はクリアに見えていない。  
一度眼の検査をして、自分の『見え方』を確認しよう。

出典：図はすべて『スポーツパフォーマンスと視覚～競技力と眼の関係を理解する』(日本スポーツ視覚研究会編集、有限会社ナップ発行)

# 強化指定選手 の紹介

2023年10月1日付

## ライフル RIFLE



AR

**野畑 美咲**

ノバタ・ミサキ

生年月日 2003/8/25  
出身地 大分県大分市  
所属 明治大2年



AR

**中口 遥**

ナカグチ・ハルカ

生年月日 1998/1/13  
出身地 鳥取県日吉津村  
所属 滋賀ダイハツ販売



AR

R3P

**遠藤 雅也**

エンドウ・マサヤ

生年月日 1998/2/16  
出身地 岐阜県美濃市  
所属 名阪急配



AR

R3P

**島田 敦**

シマダ・アツシ

生年月日 1998/7/20  
出身地 埼玉県上尾市  
所属 自衛隊体育学校



AR

R3P

**岡田 直也**

オカダ・ナオヤ

生年月日 1990/10/10  
出身地 岡山県津山市  
所属 ALSOK



AR

**花川 直樹**

ハナカワ・ナオキ

生年月日 1998/7/8  
出身地 兵庫県伊丹市  
所属 自衛隊体育学校



AR

**三浦 莉桜**

ミウラ・リオ

生年月日 2002/4/3  
出身地 福井県  
所属 明治大学



AR

**藤枝 乙羽**

フジエダ・エトハ

生年月日 2002/4/24  
出身地 三重県  
所属 愛知みずほ大学



R3P

**清水 彰人**

シミズ・アキヒト

生年月日 1999/4/28  
出身地 徳島県鳴門市  
所属 徳島県ライフル射撃連盟



AR

R3P

**松本 崇志**

マツモト・タカユキ

生年月日 1984/1/10  
出身地 長崎県島原市  
所属 自衛隊体育学校



R3P

**堀之内 愛**

ホリノウチ・アイ

生年月日 2000/6/19  
出身地 徳島県小松島市  
所属 自衛隊体育学校



AR

R3P

**平田 しおり**

ヒラタ・シオリ

生年月日 1999/11/6  
出身地 石川県能美市  
所属 ALSOK



R3P

**清水 綾乃**

シミズ・アヤノ

生年月日 1990/11/18  
出身地 岐阜県岐阜市  
所属 自衛隊体育学校



コーチ

ナショナルコーチライフル10M

**キム・ウーヨン**

生年月日 1981/11/10  
出身地 韓国



コーチ

ナショナルコーチライフル50M

**ゴラン・マキシモビッチ**

生年月日 1963/7/27  
出身地 セルビア



R3P

**松本 靖世**

マツモト・ヤスヨ

生年月日 1990/11/21  
出身地 熊本県熊本市  
所属 いちご



R3P

**千葉 朔海**

チバ・サクミ

生年月日 1997/1/30  
出身地 千葉県柏市  
所属 日立ビルシステム

### 略語について

AR  
……10M エアライフル

R3P  
……50M ライフル 3 姿勢

# ピストル

## PISTOL

AP



**陸 未来**  
クガ・ミキ

生年月日 1994/1/12  
出身地 新潟県南魚沼市  
所属 新潟県警察

AP



**金坂 春杜**  
カネサカ・ハルト

生年月日 1994/1/28  
出身地 千葉県原市  
所属 陸上自衛隊

AP



**岩佐 正貴**  
イワサ・マサキ

生年月日 2002/2/8  
出身地 徳島県南市  
所属 自衛隊体育学校

AP



**相澤 ひかる**  
アイザワ・ヒカル

生年月日 1990/6/11  
出身地 北海道勇払郡  
所属 警視庁

AP



**森川 清司**  
モリカワ・セイジ

生年月日 1984/4/20  
出身地 島県東広島市  
所属 広島県警察

AP



**園田 由伸**  
ソノダ・ヨシノブ

生年月日 1982/9/1  
出身地 群馬県桐生市  
所属 自衛隊体育学校

AP



**佐藤 優磨**  
サトウ・ユウマ

生年月日 1993/11/16  
出身地 山形県鶴岡市  
所属 千葉県警察

AP  
SP



**佐々木 千鶴**  
ササキ・チヅル

生年月日 1985/12/2  
出身地 岩手県盛岡市  
所属 岩手県警察

AP  
SP



**小西 ゆかり**  
コニシ・ユカリ

生年月日 1979/1/11  
出身地 北海道二世部  
所属 飛鳥交通

RFP



**森 栄太**  
モリ・エイタ

生年月日 1983/4/13  
出身地 静岡県浜松市  
所属 自衛隊体育学校

RFP



**武内 響**  
タケウチ・ヒビキ

生年月日 1997/4/11  
出身地 北海道札幌市  
所属 自衛隊体育学校

RFP



**市川 広義**  
イチカワ・ヒロヨシ

生年月日 1982/11/4  
出身地 静岡県三島市  
所属 警視庁

RFP



**飯村 嘉一**  
イムラ・ヨシカズ

生年月日 1983/8/30  
出身地 千葉県船橋市  
所属 警視庁

AP  
SP



**山田 聡子**  
ヤマダ・サトコ

生年月日 1995/2/26  
出身地 滋賀県甲賀市  
所属 陸上自衛隊

コーチ  
ナショナルコーチ(ピストル)



**エミール・ドジャノフ**  
ホシノ・ユウナ

生年月日 1962/4/9  
出身地 ブルガリア

SP



**星野 優奈**  
ホシノ・ユウナ

生年月日 1995/6/22  
出身地 千葉県  
所属 警視庁

SP



**財津 美加**  
ザイツ・ミカ

生年月日 1992/5/24  
出身地 大分県日田市  
所属 大分県警察

RFP



**吉岡 大**  
ヨシオカ・ダイ

生年月日 1985/12/14  
出身地 京都府長岡京市  
所属 京都府警察

### 略語について

- AP  
……10Mエアピストル
- SP  
……25Mピストル(女子)
- RFP  
……25Mラピッドファイアピストル(男子)

# パラ射撃

## PARA SHOOTING

ARGOPR・SH1



**水田 光夏**  
ミズタ・ミカ  
生年月日 1997/8/27  
出身地 東京都町田市  
所属 白寿生科学研究所

ARGOPR・SH2



**瀬賀 亜希子**  
セガ・アキコ  
生年月日 1965/10/12  
出身地 東京都三鷹市

ARGOPR・SH1  
FR6OPR・SH1



**岡田 和也**  
オカダ・カズヤ  
生年月日 1969/10/30  
出身地 三重県津市  
所属 サイネオス・ヘルス・コマーシャル

ナショナルコーチ(ピストル)  
コーチ



**羽田 順一**  
ハネダ・ジュンイチ  
生年月日 1949/7/15  
出身地 宮城県仙台市

ナショナルコーチ(ライフル)  
コーチ



**野口 優太**  
ノグチ・ユウタ  
生年月日 1996/12/27  
出身地 埼玉県上尾市

ナショナルコーチ(ライフル)  
コーチ



**猪坂 桂**  
イサカ・カツラ  
生年月日 1971/7/15  
出身地 東京都あきる野市

ARGOPR・SH1  
FR6OPR・SH1



**渡邊 裕介**  
ワタナベ・ユウスケ  
生年月日 1975/8/14  
出身地 広島県府中市  
所属 渡辺石灰

### 略語について

R3……エアライフル伏射混合 SH1  
R5……エアライフル伏射混合 SH2  
R6……ライフル伏射混合 SH1

SH1……自分の腕でライフル銃を保持する選手のクラス  
SH2……上肢に障がいがあり、規定の支持スタンドを用いる選手のクラス

## パラリンピック・パリ大会出場へ

# 出場枠の ラストチャンスは 3月

パリ・パラリンピックに向けた選手たちの戦いも大詰めを迎えました。これまでWSPSワールドカップで、日本は全部で3枠獲得しています。出場枠を獲得できる残された機会はあと1回で、3月にインド・ニューデリーで開催されるWSPSワールドカップのみとなりました。ここで20枠が配分されることになっています。それまでに2回、NTCで強化合宿を行い、WCはもちろん、本番に向けバストコンディションで個々の選手たちが臨めるような環境を整えていきます。

(田中辰美/ハイパフォーマンスディレクター)

# New Model !!



上段：Model 900 Alu MESHPRO  
下段：Model 900 Alu

## Feinwerkbau GmbH Model 900 Alu

商品に関するお問い合わせは、お電話・メール、または公式LINEまで！！

### 株式会社 銀座銃砲店

〒104-0061 東京都中央区銀座6丁目  
13番7号(新保ビル2階)  
TEL:03(6226)6133 FAX:03(3543)1444

公式SNSで

お得な情報発信中!!

右記QRコードよりチェック!!



facebook



Instagram



TWITTER



友達追加はこちら!!



ホームページより  
カタログをダウンロード  
できます。



# エリートアカデミー 10年の 挑戦

後編

未来の Olympianたち  
～射撃競技の明日を担う～  
オリンピック  
連載 第3回

JOC エリートアカデミー事業に参加して10年を迎えた。前号ではこの事業の内容と、これまでどのような活動を行ってきたか、という点にスポットをあて、紹介させていただいた。

今号では、この活動に参加した7名の修了生にインタビュー。当時の生活と思い出をこの活動に興味を持ち、応募したいと考えている後輩たちに向けて語ってもらった。

## JOCエリートアカデミー事業 修了生

入校年	期	氏名	出身地	在籍	現在の所属
2014年	日ラ1期生 (JOC7期)	清水 彰人	徳島県	中学3年～高校3年	アラスカ大学
		大塩 勇斗	福井県	中学1年～高校3年	明治大学
		川原 楓	福岡県	高校2年～高校3年	自衛隊
		井浦侑希乃	福岡県	高校2年～高校3年	警視庁
2015年	日ラ2期生 (JOC8期)	上田 ゆい	福岡県	高校1年～高校3年	
2016年	日ラ3期生 (JOC9期)	井浦 一希	福岡県	高校1年～高校3年	医療法人今村病院
2017年	日ラ4期生 (JOC10期)	佐藤 琳	山形県	中学3年～高校3年	早稲田大学
2018年	日ラ5期生 (JOC11期)	高木 葵	岐阜県	高校1年～高校3年	中央大学

この生活から何を得て、学ぶかそれは自分次第  
清水 彰人  
ライフル  
動きの少ない競技なので最初は苦手意識があったのですが、小中学生を対象とした全日本大会での優勝がきっかけで興味が出て、アカデミーの存在を知りました。中学3年で入校しました。どちらかというと、人と付き合うのがうまいほうではないので、周囲と打ち解けるまでに時間がかかりました。逃げ出したくなったこともありましたが、振り返るとエリートアカデミーで学び、得たものがたくさんあります。掃除、洗濯といった生活の基本的なことを早くから身につけることができました。射撃に関しては、全日本大会やナショナルの選考会、海外への遠征など、たくさんのお話を提供してもらいました。この環境からどんなこと得て、何を学ぶかはまさに自分次第。そうしたアカデミーのよさに気づくかどうか。

人生の時間を巻き戻しても、またここで学びたい  
大塩 勇斗  
ライフル  
小学6年生のときにオーデイションの話をいただき、両親と何度も話し合い、受けることを決めました。もちろん不安はありましたが、行ってみたいという気持ちのほうが強かったです。同期生として入ったのは3人。みんな年上で射撃のレベルも高く、自分だけ射撃のことを何も知らずに入ってしまった状況でした。環境も大きく変わり、食堂に行けば有名なトップ選手がいたりするので、自分がこんなところにいるのかなんて思ったこともありましたが、一番苦しかったのは、同期が活躍するなかで自分だけ成績が出せなかったときです。プレッシャーがかかり、しんどかったですね。でも、自分で覚悟を決めて入ってきた

アスリートとしての土台はここでつくられた  
川原 楓  
ライフル  
小学6年のとき別の競技で話があったのですが、当時は親元を離れることに抵抗がありました。高校生で再び話をいただき、高校2年で入校しました。そこからのスタートなので、実質2年間しか学べません。焦りのようなものはありましたね。しかも射撃競技1期生ですから、私たちの成績が芳しくなければ、射撃部門はなくなる可能性があります。高校生ですとそんな事情も分かっています。成績を出さなければいけないという思いがありました。特に国内の大会では勝つことは当たり前だと必死でした。



しみずあきひと  
清水 彰人  
ライフル



おおしおはやと  
大塩 勇斗  
ライフル

それ次第で、アカデミーでの生活はまったく違ったものになる、とは思っています。



かわはらかさで  
川原 楓  
ライフル

たのでやるしかないっていう思いと、他競技の人たちとの交流があったおかげで踏ん張れました。人生の時間を巻き戻したとしても、またここに入り学びたいと思えるぐらい、中身の濃い6年でした。

振り返ると、アスリートとしての土台はここでできました。アカデミーに入っていないなかったら、その後の道はなかったと思います。一つ残念なことは、2年間しか学べなかったこと。早くから始めると実力がつくことは、清水と大塩が証明してくれています。強くなりたい人には覚悟を持って挑戦してもらいたいですね。



いらいゆきの  
**井浦侑希乃**の  
ピストル

**素晴らしい練習環境を活かすには、強い気持ちで臨むことが大切**

ライフルをやっていた姉（長女）に憧れて競技を始め、アカデミーのオーディションがあるということに推薦していただきました。

高校の同級生だった川原（楓）さんが一緒だということもあり、親元を離れることにはなんの迷いもありませんでした。

当時は射撃1期生ということで、スタッフと私たちは家族のような感じでした。寮は私と川原、飛び込み競技の選手2人との4人部屋

で、他競技との交流は楽しかった思い出です。ただ、最初の1年は練習で出せる点数が試合では緊張で出せないことが続き、苦しかったです。

いま振り返ると、アカデミーは技術を持った指導者のもとで目標に向けて一緒に考え、戦っていく素晴らしい環境でした。ただ覚悟が必要などころなので、周囲に勧められたからではなく、自分が行きたいという強い気持ちが必要です。それがないと壁にぶつかったときに乗り越えられないように思います。



いらいゆきの  
**井浦一希乃**  
ライフル

**ほかの人ができない経験がここにはたくさんあった**

アカデミーに入ることを決めたのは、姉（侑希乃）の影響です。姉が入学して、「覚悟がないとたいへんなどころだよ」と聞いていた

したが、強くなりたい、整った練習環境のなかでやってみたくらい、高校1年で入りました。実際に入ってみると射撃漬けの

生活で、他の高校生がしているような青春はできませんでした（苦笑）。結果が出せなくて、こんなに指導してもらい、練習しているのに、どうして結果が出せないんだろう」と悩んだこともありまし

た。でも、日本代表や他競技の選手、栄養士やトレーナーなどの専門家など、さまざまな人と関わらせていただき、ほかの人たちが絶対にできない体験がたくさんありました。思えば、ここで人としての力がついたように思います。離れていま、改めてアカデミーの環境の素晴らしさを感じます。後輩のみなさんにはぜひその環境を活かしてもらいたいなと思います。



さとうりんの  
**佐藤 琳**  
ピストル

**射撃のアスリートとしての自覚が芽生えた場所**

他競技で地元の先輩がアカデミーに入っていた

ので興味があり、中学3年生で入学しました。中学最終学年での転校と、こちらに来てからエアピストルを始めたので、最初の1年は

なかなかたいへんでした。高校に入学してからの本格的なスタートという形だったと思います。コーチからたくさん教わりました。性格的に頑固なところがあるので、それまではあまりアドバイスを受け入れられないところがあつたのですが、ここでよい指導者と出会い、射撃の面白さを知り、射撃の世界が広がりました。オリンピックについても、それまではテレビで見ると大きな大会という認識だったので、アカデミーで近くにトップ選手を見たり、どのような仕組みで代表になれるのかを知り、現実的に捉えることができるようになりました。

私にとってアカデミーは射撃に目覚めた場所、ということができませんね。

中学生は悩みも多い時期です。葛藤もあると思います。でも、頑張っていれば、必ずいいことがあるので、これからエリートアカデミーを目指したいという人たちにぜひ頑張ってもらいたいと思います。



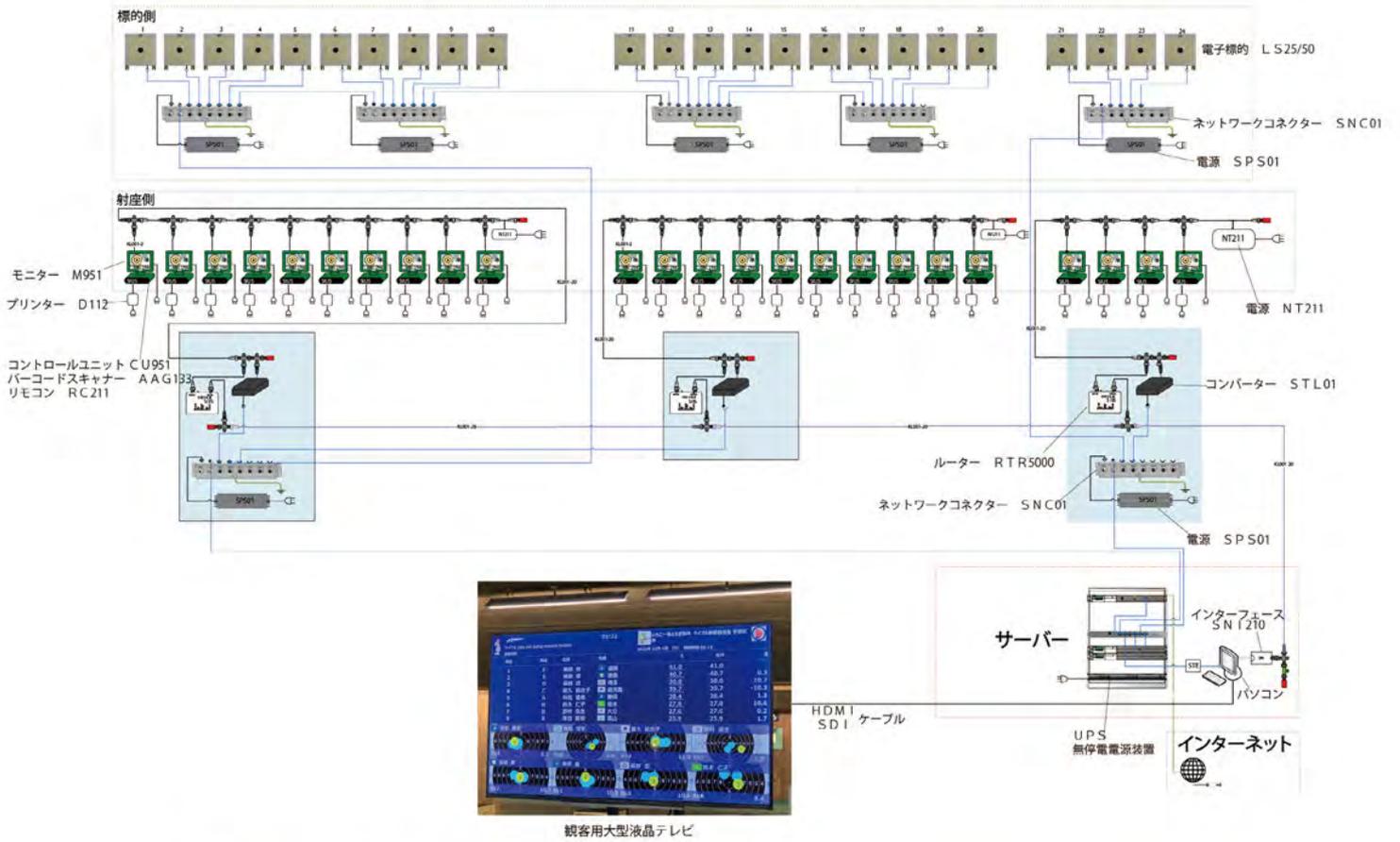
たかぎあおいの  
**高木 葵**  
ライフル

**プレッシャーはあるけれど、頑張ればいいことは必ずある**

高校1年生から3年間のアカデミー生活でしたが、想像していた以上に



# STYX ネットワークシステム



ISSF公認 (Phase III・最高評価の公認)

光学式電子標的・超音波式電子標的

SIUS 社 日本総代理店  
**日本ビーム株式会社**  
[www.japanbeam.com](http://www.japanbeam.com)





## CONTENTS

### 新春特集

射撃界、2024年の予想図 ..... P4

新年の挨拶 ..... P3

パリオリンピック、ここからの道程 ..... P7

### 特集

国民体育大会直撃レポート

燃ゆる感動がごしま国体

～熱い鼓動 風は南から～

P12

ボクも、ワタシも、10点、出したよ！

聴覚障がいの子どもたち、スポーツ射撃に挑戦

P11

射座に立てばライバル 射座の外ではベストフレンド！

2023 東アジアユースエアガン大会

P20

### 連載

射手の美学

～その活躍には理由がある

P8

大会レポート

P16

ライフル学 アスリートのための視覚講座

P22

強化指定選手の紹介

P24

射撃競技の明日を担う

未来の Olympian たち

エリートアカデミー10年の挑戦（後編）

P28

射撃人 横山 幸子 副会長

P31

### 今月の表紙

現在、日本のライフル射撃界のトップを走っている岡田直也選手が今月の顔。2023年はワールドカップで日本人初の金メダルに輝くなど、その活躍が光りました。ライスポではカメラマンとしても協力いただいています。

(写真/松島 愛)

ライフルスポーツ 冬 2024  
JANUARY

発行：公益社団法人日本ライフル射撃協会  
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE

TEL 03-6721-0792 FAX 03-6721-0793

Http://www.riflesports.jp/

Email : rifle@riflesports.jp

取材に関しましては下記までご連絡ください。

E mail : shuzai@riflesports.jp

発行人：松丸喜一郎

編集：総務委員会広報部会、78works

デザイン・印刷：明宏印刷株式会社

※ 本誌はスポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。

記載記事、写真などの無断転載はお断りいたします。

次号は2024年4月15日発行予定です。

## 射撃人

～ Shooting for All, All for Shooting ～

## 私と射撃スポーツ

横山 幸子 副会長

みなさま、新年明けましておめでとうございます。

本年もみなさまにとつて、素晴らしい年となりますことをお祈り申し上げます。

さて、私が射撃スポーツとかかわりをもつようになったのは、私が日本ライフル射撃協会の外部理事となったことからです。ですから、私には射撃スポーツの競技経験はありません。そんな私から見たライフルスポーツの印象、また、今後の射撃スポーツの在り方について、日ごろから私が感じていることをお話しします。

まず、射撃の魅力は瞬時に得点が出ることです。上手くいったか失敗したかが、瞬時にわかるということとは、シンプルで分かりやすさにつながります。他方、シンプルと言っても簡単ということではありません。競技者のその時の精神状態などが如実に出てしまうという意味では、ごまかしの効かない、自分との闘いであり、奥深い競技であるとも言えます。

このように魅力的な競技であるにもかかわらず、競技人口が増えていかないのはどうしてなのでしょう。

今、日本全体で、多くの競技人口が減少しています。これは人気スポーツであるサッカーでもそうです。健康志向が強まっているにもかかわらず、競技人口が減少しているのはなぜなのでしょう。アンケート調査で見えてくるのは、仕事や家事が忙しい、面倒くさいという声です。確かに、射撃はそもそも

もどこでもできるスポーツではありません。射撃場は多くの場合、不便な場所にありますし、銃や弾の保管もなかなか大変です。そんなところは、現代の忙しい人々にはあまり魅力的ではないのかもしれない。

しかし、ビームライフルやeスポーツの射撃では、遠方の射撃場まで出向かなくとも、場合によっては自宅でもできる種目です。そんな身近なところから、射撃を楽しんでもらえれば、比較的高齢者でも十分行える競技です。射撃の楽しさを広めることができるのではないのでしょうか。そこから、エアや火薬銃へと本格的に射撃を始める人も出てくるでしょう。まずは、射撃は日常生活からかけ離れたスポーツではなく、楽しみながら集中力を身につけ、また障害者や高齢者、若年者も楽しめるスポーツであること、現在競技をされているみなさまが実感して楽しむところから始める必要があるでしょう。また、日ラや加盟団体などの組織も、今後、様々な人を受け入れられるようなあらゆる意味でキャパの大きい組織に変わっていく必要があると思います。





REACH BEYOND



追いつく風に飛び乗れ。

前へ進みながら  
新しい風を感じている。  
未来へと向かう風。  
軽快に、爽快に。

自分の意志と、自分の力で  
スタートを切った私たち。  
背中を押されるままに  
その風に飛び乗ればいい。



MIZUNO  
TRAINING

